

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3 年 2 月 27 日

公表: 令和 3 年 3 月

事業所名                      ジーニアスKIDS植田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	・広い空間が確保出来るようテーブル等必要時のみ出してスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	2	・保育士・児童指導員2名以上の配置	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・おもちゃは箱に写真をつけて片付けやすい工夫をしている。	継続していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		日々の清掃、消毒との実施	・クールダウンできるスペースを作って対応していきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	随時ミーティングを行い、情報の共有・支援の同一を図っている。	・ミーティング実施し、決定事項を共有しているが徹底していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・保護者の意向の情報共有・把握出来るよう努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	・外部評価は行っていない	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・研修報告で共有	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		実施している。	・継続して行う。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	事業所アセスメントシートを使用	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	個別支援に盛り込み実施している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		行っている。	・カレンダー作成にスタッフ全員が関わっている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・スタッフの得意分野をプログラムに取り入れる等工夫している。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		・状況に応じて実施している。	・集団活動が苦手な児童に対して、マンツーマンで対応するなど支援を変えている。	

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	・一日の流れやスクールの進め方など確認している	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	・終了時に行えていないこともあるが必要時は情報共有したり、MTで対策・対応を話し合っている。	・振り返りシートを作成し、共有する場を設ける。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2	・業務日誌や連絡ノートに記載し徹底している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		見直しに努めている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		所長が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	3	・情共有はあるが、連携支援はあまりできていない。	・連携を取る機会を設けたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2		・該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3		・該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	先生と話す機会を設けている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	サポートブックを活用して、保護者を通じて情報提供している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	連携が十分に取れていない。	・令和2年度はコロナウイルスの事もあり、機会を設けられなかった。これからの世間の状況に合わせて活動する機会を設けていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	現状行えていない。	・令和2年度はコロナウイルスの事もあり、機会を設けられなかった。これからの世間の状況に合わせて活動する機会を設けていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	連絡協議会・子ども部会に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や電話やメールでの家庭支援時にお伝えしている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	4	1	包括的な支援に努めている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		契約時に行っている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	送迎時や電話やメールでの家庭支援時に実施している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	コロナの事もあり実施できていない。	・父母会の実施希望等のアンケートを実施。今後連携の支援をしていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		基本的に即日対応を努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		広報誌・SNSにて発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報は鍵付き書庫で保管。廃棄はシュレッダー	

39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		配慮している。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	行っていない。	・令和2年はコロナウイルスの事もあり、機会を設けられなかった。これからの世間の状況に合わせて活動する機会を設けていきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	3	月に一度防災訓練の中に盛り込んで実施。	・月に一回防災訓練を実施し、継続していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	月に一度防災訓練を実施。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		事前に確認してから利用を開始している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	保護者の指示に従う。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	「なぜなぜ」を記入し、情報共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2	・虐待防止委員会を設置している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		計画に記載。	・契約時に保護者への説明を行っている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。